

記者提供資料（2023年9月12日）

環境局自然環境課 岡田、野坂 078-595-6216（内線 955-3722）

危機管理室 上月、近藤 078-322-6237（内線 902-9725）

港湾局海岸防災課 森本、一色 078-595-6325（内線 951-5558）

六甲アイランドのコンテナヤードで確認された コカミアリへの対応

〈岡山県同時発表〉

2023年9月6日(水)に六甲アイランドのコンテナヤードで確認されたアリについて、専門家による種名の判別の結果、特定外来生物コカミアリ(*Wasmannia auropunctata*)であることが確認されましたので、お知らせします。

国内では、2014年に成田空港での輸入植物検疫において、コカミアリとして確認された事例および2023年7月に岡山県倉敷市水島港の国際コンテナターミナルで発見された事例が報告されているのみであり、神戸市では初確認になります。

本件は、神戸港を經由して水島港で陸揚げされたコンテナの周囲にコカミアリと疑わしいアリが確認されたことから、神戸港でも当該コンテナが置かれていた地点周辺での生息調査を実施したところ、コカミアリと疑わしいアリが確認され、専門家による種名の判別の結果、コカミアリであることが確認されたものです。

なお、コカミアリが確認された場所は、一般の方は立ち入ることができないエリアです。また、本件に関して人的被害はありません。発見箇所の周辺に殺虫剤入りの餌（ベイト剤）を設置しています。

1. コカミアリ

学名：*Wasmannia auropunctata*

原産地：中南米原産。中米からフロリダ以南、アフリカ、ガラパゴス、ニューカレドニア等の太平洋諸島に侵入

特徴：働きアリは体長1~2mm程度、女王アリは4.5mm程度の小型のアリ。刺されるとアルカロイド系の毒によって非常に激しい痛みを覚え、水疱状に腫れる。1コロニー当たりの産卵量も多く、コロニーの増殖や分布拡大の能力が高い。ヒアリ類（トフシアリ属）ではなく、ヒアリよりも毒性が弱い。（情報提供：環境省）

2. 経緯

- | | |
|-----------|--|
| 8月 6日（日） | フィリピンのマニラ北港から当該コンテナを積載した船舶が出航 |
| 8月 21日（月） | 神戸港に到着、内航船へ積み替えるため陸揚げ |
| 8月 29日（火） | 神戸港を出港 |
| 8月 29日（火） | 水島港で当該コンテナを陸揚げ |
| 9月 3日（日） | 岡山県が水島港国際コンテナターミナルで定期的に行っているヒアリ等生息確認調査において、当該コンテナ周辺にて、「コカミアリ疑いのアリ」約200個体を確認 |
| 9月 5日（火） | 環境省より神戸市に本件に関する連絡あり |
| 9月 6日（水） | 環境省と神戸市および専門家で、神戸港の当該コンテナが置かれていた場所周辺にて、「コカミアリ疑いのアリ」約50個体（女王アリの確認なし）を確認、ベイト剤を設置 |
| 9月 9日（土） | 神戸港および水島港で確認されたアリはコカミアリと判明 |

3. 今後の対応

コカミアリは、高い繁殖能力を持つこと、非常に小型で発見しにくい生物であることから、一旦定着すると、根絶することは非常に困難となります。そのため、定期的な生息調査により、早期発見、早期防除することで、定着前に根絶を図ることが極めて重要です。環境省と連携しながら、神戸港の当該コンテナが置かれていた地点周辺等においてコカミアリの生息調査および防除を継続します。

4. 疑わしいアリの発見時の対応について

コカミアリは毒性を持つことから、疑わしいアリを確認された際には、まずは触らず、どのような場所にどの程度のアリがいるか等、状況を確認してください。

その上で、環境局自然環境課に速やかに連絡し、取扱いについて相談してください。

万が一、刺されてしまった場合の対処方法などについては、下記を参考にして対応してください。

「特定外来生物「ヒアリ」「アカカミアリ」（神戸市ホームページ）」

https://www.city.kobe.lg.jp/a66324/kurashi/recycle/biodiversity/solenopsis_invicta.html

「要緊急対処特定外来生物ヒアリに関する情報（環境省ホームページ）」

<http://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/attention/hiari.html>

5. 今回確認されたコカミアリ



6. 今回コカミアリが発見された場所



参考（岡山県報道発表）

令和5年9月12日

お知らせ

課所名	自然環境課	港湾課	水島港湾事務所
担当	自然保護班 藤原 (特定外来生物関連)	港政班 田淵 (港湾関連)	維持管理課 白根 (水島港関連)
内線	3115	4334	—
直通	(086)226-7309	(086)226-7484	(086)444-7144

水島港国際コンテナターミナルでコカミアリが確認されました

水島港国際コンテナターミナルで定期的に行っている県独自のヒアリ等生息確認調査において9月3日以降に発見されたアリについて、環境省中国四国地方環境事務所を通じて専門家に鑑定を依頼していたところ特定外来生物のコカミアリと確認されたので、お知らせします。

発見された個体（約980個体）は殺虫処理しており、人的被害の報告はありません。

なお、去る7月3日に見つかったコカミアリについては、約1か月にわたり重点的な監視を実施しておりましたが、新たな個体の発見はなく、今回確認された個体は新たに侵入したものと思われます。

記

1 経緯及び対応状況

9/3(日)・水島港国際コンテナターミナルのコンテナ（フィリピン・マニラ北港から神戸港を経由して水島港に陸揚げされたもの）の周辺において、専門業者がコカミアリと疑われる個体（約200個体）を発見し、県に通報

9/4(月)・中国四国地方環境事務所、県及び港湾関係者において個体が発見されたコンテナ底部などを調査したところ、新たな個体（約500個体、うち女王アリ3個体）を発見。発見場所及びその周辺を殺虫剤により防除

・中国四国地方環境事務所を通じて専門家に鑑定依頼

9/5(火)・中国四国地方環境事務所、県及び港湾関係者においてコンテナ内部を殺虫剤により防除

9/6(水)・9月3日の発見場所において新たな個体（女王アリの死骸4個体）を発見

・コンテナターミナルからコンテナを移動した後、改めて中国四国地方環境事務所がコンテナ内部及び荷物を確認したところ、新たな個体（約230個体、うち死骸約200個体）を発見

9/7(木)・港湾関係者及び荷主がコンテナ内部及び荷物をくん蒸処理により防除

9/8(金)・コンテナ内部及び荷物において、新たな個体（死骸約50個体）を発見

9/9(土)・専門家に鑑定依頼していた個体がコカミアリと判明

9/11(月)・中国四国地方環境事務所から県にコカミアリと判明した旨の連絡

2 今後の対応

当分の間、発見場所周辺において、トラップを設置し、監視を継続する。

また、その間に新たな個体が発見された場合は、ベイト剤（殺虫餌）等を用いて速やかに殺虫処理を行う。

【裏面あり】

水島港 コカミアリ発見場所



コカミアリ



- ・原産地 中南米原産。
中米からフロリダ以南、アフリカ、ガラパゴス、ニューカレドニアなど太平洋諸島に侵入している。
- ・特徴 体長1～2mm程度の小型のアリだが、刺されるとアルカロイド系の毒によって非常に激しい痛みを覚え、水疱状に腫れる。1コロニーあたりの産卵量も多く、コロニーの増殖や分布拡大の能力が高い。